

取り組み紹介書

施設 聖隷浜松病院	団体名 緩和ケアセンター 家族ケア・遺族ケアグループ
--------------	-------------------------------

【タイトル】夏休み子ども探検隊の開催

【課題】

当院では「AYA 世代（15 歳～40 歳未満）」のがん患者さんの割合が多い。中でも子育て真っ只中の方もおり、子どもへの関わり方に悩んでいる等、その世代特有の悩みを抱えている。

【目的】

「がんはどのような病気なのか」「病院のどこでどのような治療を受けるのか」を学習や探検を通して病気や病院に対する子どもの恐怖や不安を和らげると共に、病気や治療について親から子どもに説明する際に役立つものを提供することによって、家族内のコミュニケーションの促進に繋げるため。

【方法】

「夏休み子ども探検隊」を年 1 回企画し、がんに関する内容を紙芝居で伝えたりするほか、聴診器体験や化学療法室、手術室、腫瘍放射線治療室など院内を探検する。

【結果・効果】

2013 年～2018 年までで計 6 回開催しており、参加者数は 21 家族（大人 27 名、子供 31 名の 58 名）。子供・大人共に参加者の満足度は高く、子供からは「探検隊に参加して良かった」「病院に対する不安や怖さが減った」との声や、大人からも「普段見ることのできないところ、触れることのできない物に触れられる機会は、病気への理解や病気の家族への理解につながりとてもいい時間になる、患者本人も治療をがんばろうという気持ちが出てきた」との声もあり、家族内のコミュニケーションの促進ならびに患者自身の治療への前向きな思いにも寄与している。

【事業団内外の表彰実績（表彰されている場合）】

